



注目！使いこなしアイテム
Topics

アナログ周りだからこそ活かしたいNCF効果

フルテックのNCFシリーズアクセサリで 音楽に没頭できる環境を手軽に実現

ケーブルや端子周りがかつてない音質向上を実現し、新しいグレードアップアイテムとして話題のフルテック「NCF Boosterシリーズ」。独自の優れた製造技術と開発力を生かす製品作りで、斬新かつ多彩なラインアップが続々誕生。オーディオファイルから高音質音楽ソフト制作現場まで世界中の幅広い層に好評を得る。今回、効果が特に顕著なPHONO系を中心に、実際にどう効くのか導入レポートする。

Text by
炭山アキラ
Akira Samiyama
Photo by 田代法生

FURUTECH

NCF Booster-Signal-L

コネクタ／ケーブルホルダー ¥16,280(税込、1個)



NCF®

FURUTECH

NCF Clear Line

ACオプティマイザー ¥25,080(税込、1個)



FURUTECH

NCF Booster-Brace-Single

コネクタホルダー ¥15,180(税込、1個)

フルテックといえども、つい数年前までは完成品ケーブルと各種高級プラゲを主に扱うメーカーという印象だったが、2018年に登場したNCFブースターによって、大幅にイメージが変わったように思う。もちろん「オーディオをより高音質に！」という思いで製品群が構築されていることに変わりはないが、これまでのケーブルやコネクタ類が宿命的に背負ってきたマイナスを、一気にプラスへと転じさせるような、画期的なアクセサリのジャンルが誕生した、とさえ言っても良いのではないかと考えている。

それでは、同社は具体的に何をやり遂げたのか。高音質の大敵として、あまり注目度は高くないが、かなりの悪さをしているのが静電気だ。NCF(ナノ・クリスタル・フォロミュレーション)とは、簡単に説明すればイオン化傾向の大きな鉱物をナノ粒子化して樹脂に配合した素材で、接触あるいは至近距離に接近した物質に帯電した静電気を速やかに除去する効果が知られている。

● 充実するNCFアクセサリ
幅広く応用できて効果が顕著
画期的な新ジャンルといえる

フルテックといえども、つい数年前までは完成品ケーブルと各種高級プラゲを主に扱うメーカーという印象だったが、2018年に登場したNCFブースターによって、大幅にイメージが変わったように思う。もちろん「オーディオをより高音質に！」という思いで製品群が構築されていることに変わりはないが、これまでのケーブルやコネクタ類が宿命的に背負ってきたマイナスを、一気にプラスへと転じさせるような、画期的なアクセサリのジャンルが誕生した、とさえ言っても良いのではないかと考えている。

それだけでも音質アップに劇的な効果をもたらすというのに、第一弾のNCF Boosterは電源の両端プラグを支えるクランプとして生を受けた。高品位な電源ケーブルを使っていても、特に機器側のIECコネクタはもうひとつグラつきが抑えられず、ここをしっかりと支えてやることは大変有効な方策といつて良い。実際の話、初めて聴いた時にはあまりの音質向上ぶりに目を白黒させざるを得なかったものだ。

また、ディスクプレーヤー、プリ/パワーアンプと、本品で支える機器の数を次々と増やしていくても効果に飽和点というものがない、青天井で音場が広がり、空気感が澄み、音像がくつきりと実体感を増していくのには、もう仰天などという陳腐な言葉では表現できない、ある種の畏怖のようなものすら感じさせてくれたものである。

その後、インターコネクトでも電源でもケーブルが床と接すると振動や静電気を拾ってしまうことから、ケーブルを床から浮かすためのNCF Booster Signalが登場、こちらも想像以上の効果を目を

丸くした。NCF Boosterとよく似た効果だが、電源の丸型コネクタに形状を合わせた第一弾に対してこちらは平たい受け部を持ち、さまざまな信号入出力系プラグなどもホールドできて幅広く使える。さらに弟モデルNCF Booster Singleは、脚の部分の思い切つて薄くすることで、アナログプレーヤーなどで低い位置にある端子類も支えやすい。工夫次第でさらに用途が広がる製品である。

続いて登場したNCF Booster Braceは、コネセントへ挿した電源プラグをしつかりと支えつつ静電気を除去する構造で、他のNCFシリーズを既に使っている装置へ加えてもさらに音質がはつきりと向上することが分かる。IEC側に使いやすいシングルタイプのブレースが追加されたのもうれしい。

そしてNCF Clear Lineは、空きコネセントに挿すだけで音質をアップできる最新モデル。対象とする、最も挿入コネセントが近くに位置する機器だけでなく、システム全体に効いてくる。

●NCFシリーズ導入レポート
PHONO系は効果が顕著
音楽へより自然に没頭できる

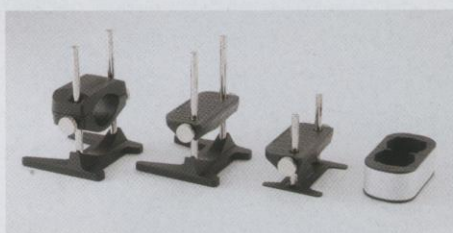
この度、改めて我が家のアナログ装置にNCF Boosterシリーズをフル使用してみた。コネセント部にBrace Singleを入れ、電源ケーブルとフォノケーブルをBooster Singleで浮かせた時の音の違いは、デジタル系を遥かに上回る大きさだった。スクラッチノイズそのものが大幅に減つたように感じさせ、音の立ち上がり/立ち下がり

強烈に耳を襲い、しかも全然耳障りではない。ポーカーは細かなバリを取り去り、しかしそれで表現が平板になるところか、より朗々と情感豊かに歌い上げる感じが出る。PHONO系はLINE系よりもずっと信号が微弱で、やはり静電気や振動の影響がより大きく音を汚したのであろう。また、LINE系よりも電圧比にしてさらに100倍ほど増幅されることを思えば、音質向上の度合いが大きくなつて当たり前ともいえるだろう。

次に、IECコネクター側にもNCF Booster Brace Singleを挿入すると、やはり楽音と雑音がきれいに分離して音楽のみを耳が検



機器のリア電源入力端子部に配置させた「NCF Booster-Brace-Single」を、「NCF Booster-Signal-L」で支持すると一層効果が出る(機器の端子の高さによっては、挿入できない場合もある)



NCF Boosterシリーズ、左から「NCF Booster」¥36,080(税込)、「NCF Booster-Signal」¥21,780(税込)、「NCF Booster-Signal-L」¥16,280(税込)、「NCF Booster-Brace」¥21,780(税込)。各種用意されたオプションパーツの追加も効果的

知するような印象となる。NCF Booster Brace SingleをNCF Booster Signal Lで受けるとさらに効果アップだ。最後にNCF Clear Lineである。それなりにノイズ対策してある我が家の電源ラインへ追加して挿すと、アナログ録音のテープヒスなどのノイズ成分が耳へ障らなくなり、音楽へより自然に没頭できることに気づく。NCFシリーズ全体へ共通する効果は、同社が長く取り組んでいるインライン・パワーフィルターの持ち味を重畳したような感じだ。

Specifications

- 【NCF Booster-Signal-L】●クレイドル：フラットタイプ●高さ設定：基本(一番低い位置での高さ)23.8mm、延長81.4mm(オプションでさらに追加可能)●ベースユニット外部サイズ：89.8×66.0mm●外部サイズ：46W×106L×23.8Hmm●質量：基本約130.5g、延長約177.5g●付属品：エクステンションシャフトバー×2本、固定リング×2本、特殊PU滑り止め透明マット×4個
- 【NCF Booster-Brace-Single】●構造：マルチマテリアルハイブリッド●本体：NCF調合ナイロン樹脂(静電効果)●ハウジング：特殊アルミ合金プラストおよびアルマイト処理●サイズ：約54.3W×38.5H×64.8Lmm●質量(ネット)：約67.5g●付属：特殊粘着両面テープ(本体装着)とスベア(強力粘着、残留接着剤なし)
- 【NCF Clear Line】●サイズ：約39.5W×88.4Lmm●質量：約69g(ネット)●全ての導電性パーツはロジウムメッキ+アルファプロセス処理●優れた振動減衰特性を持つマルチマテリアルハイブリッド構造